

RKU Today

流通経済大学広報誌

WINTER 2010

vol.10

【特集】

ついに完成した スポーツ健康センター



GORO

流通経済大学

vol.10

CONTENTS

【特集】

04

メインアリーナ竣工 ついに完成したスポーツ健康センター

文: 田畑 亨 (スポーツ健康科学部講師)

【学長室だより】

10

「実学」としてのリベラルアーツ

小池田富男 (流通経済大学学長)

【連載】コロンビア大学留学日記

12

ニューヨークで見たこと聞いたこと

「自由の国」で感じた不自由

周 作彩 (法学部教授)

Close Up!

14

流通経済大学 [教職員紹介]

【馬場啓一のRKUウォッチング】

16

「日本が一番好きです」—岡野ロビン教授—

文: 馬場啓一 (法学部教授)

【OB/OG訪問】立川が聞く。

18

川上 勉さん (1986年卒業・有限会社理建代表)

取材: 立川和美 (社会学部准教授)

【留学生紹介】

20

グエン・トゥアン・ラムさん (ベトナム出身)

「日本の歴史にも興味があります」

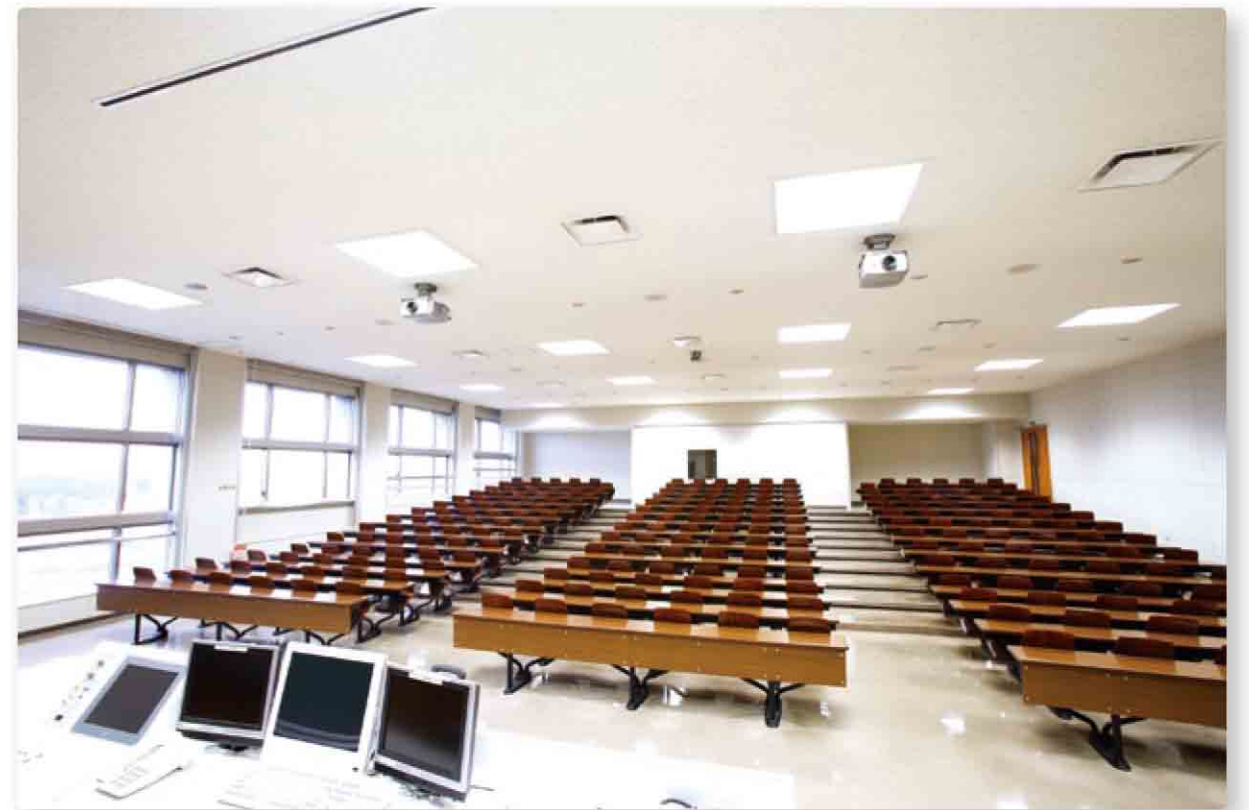
取材: 馬場啓一 (法学部教授)

21

トライアスロン田山選手 4年連続6度目の優勝!

22

NEWS & TOPICS



巻頭言

一年の計は元旦にあり。

鉄は熱いうちに打て。

これらは全て、学生諸君のためにあるような言葉である。

すなわち、事を成すのは若い時代こそ。

若者にこそ、そのチャンスがある。

一人の人間の生きる時間を、およそ80年とするとき、大学時代はその最も多感で、脳細胞の働きが俊敏な時期である。

そういう時間を持てることは、以後もうないのだ。

だから、時を大切にすべきである。

米国の詩人オグデン・ナッシュは、こう書いた。

「時は盗人、時は移り気、時は誰も待たぬ」

若き時代の一分一秒は、千金の価値があることに、思い至るべきである。

今年一年をいかに過ごすか。

しばし手を休め、ペンを置き、ボールを留めて、そのことに

思いを馳せることを勧める。

【特集】

メインアリーナ竣工

ついに完成した スポーツ健康センター

文：田畑 亨（スポーツ健康科学部講師）



二〇〇九年九月、龍ヶ崎キャンパスにスポーツ健康センターのメインアリーナが完成した。

このメインアリーナは、バスケットボール、バレーボール、フットサル、ハンドボール、体操競技など、多種目のスポーツの実施や、入学式・卒業式等、様々な式典を開催することのできる複合型施設である。

本誌『RKU Today』創刊号（二〇〇七年一〇月発行）においてスポーツ健康センターを特集したが、それから二年の歳月をかけて「メインアリーナ」が増設され、ついに「スポーツ健康センター」が完成した。

今回は、新しく建設された「メインアリーナ」の全容を紹介し、スポーツ健康センターの「今」を特集する。

スポーツ健康センターは、龍ヶ崎キャンパスの校門を抜け、1号館、4号館、そして体育館を通り抜けると、三三〇坪の広大な土地に堂々とその姿が現れてくる。

高台に位置する流通経済大学。夜、スポーツ健康センターからもれる光は鮮やかで、龍ヶ崎市の新名所といえる。

これまで、インドアスポーツは、スポーツ健康センターのサブアリーナで、授業やクラブ活動を実施してきたが、サブアリーナにはコートが一面しかなく、円滑な運営ができていたとは言えない状況だった。しかし今回のメインアリーナ完成によって、その問題も解決されることとなる。

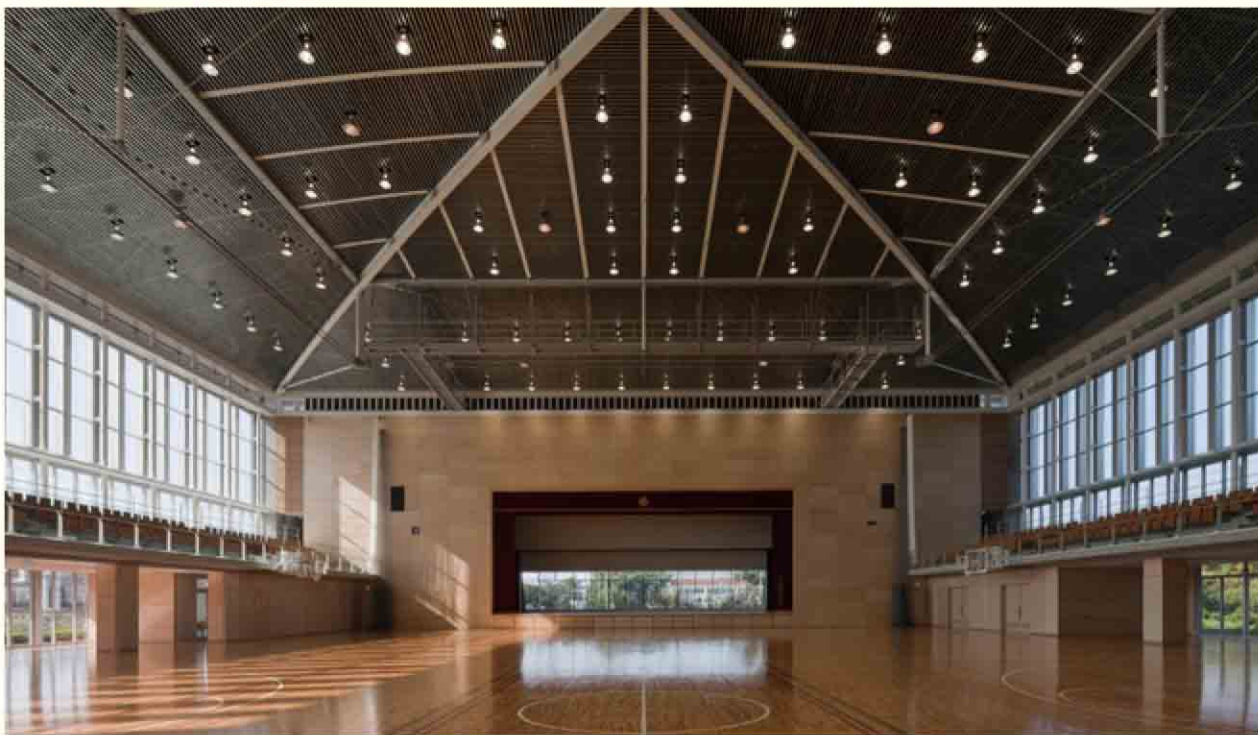
スポーツ健康センターは、スポーツ健康科学部で開講する授業を行う場であったり、運動部の活動の場であったり、学生・教職員の健康増進の場であったり、学生たちの憩いの場であったり、さらに地域のスポーツ活性化にも寄与するなど、その役割は多岐にわたる。



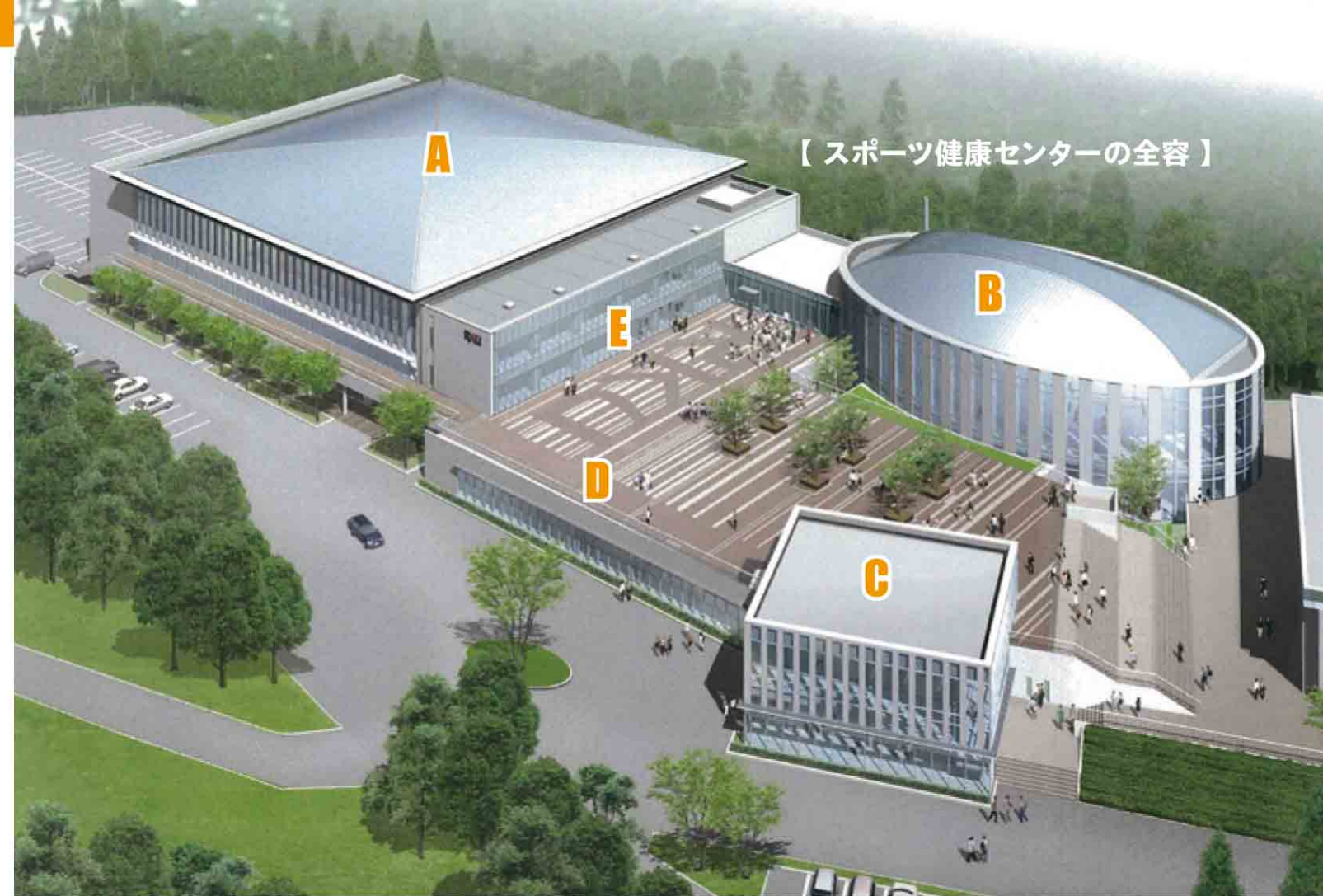
A

メインアリーナ

2009年10月に完成したメインアリーナは、鉄筋コンクリート造の地上3階建て、延床面積は4,208.38㎡で、建物両側面のガラス窓から光が差し込む明るい体育館です。バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、フットサル1面、ハンドボール1面、剣道6面、新体操1面と、さまざまな競技や練習に対応することが可能です。また、その他にも体育の授業や課外活動、入学式や卒業式などの行事にも使用されます。1階は約2,000人、2階は672人収容可能で、2階の観覧席の周囲はランニングトラックとなっています。



【スポーツ健康センターの全容】

**B**

サブアリーナ・温水プール

1階は25m×6レーンの温水プール、2階がバスケット、フットサルなどさまざまな競技に使用できるアリーナとなっています。

**C**

エントランス

各種展示ギャラリーとしても使用できるエントランスホールや、カフェ風のコミュニケーションスペースがあります。

**D**

プラザ

広々としたオープンスペースの下には、最新機器を備えたトレーニングルームや救命・トレーナー実習室などがあります。

**E**

教室棟

講義用の教室やリアルメディアルームなどがあり、メインアリーナへのエントランスとしての役割も果たしています。



様々な 授業の展開

メインアリーナの完成により、同時に多くの授業が開講できるようになった。また、メインアリーナは広い空間であることから、スポーツ健康科学部では、ゼミの時間を利用して、一学年全員を集合させての授業も展開している。

そのプログラムの一つに本年度は、どらこ体操の指導を行った。「どらこ体操」は、スポーツ健康科学部が開設された年に、本学教員・学生と龍ヶ崎市とが協同で町おこしの一貫で考案した体操である。この体操を開設当初から学部伝統として、一年ゼミの時間に指導を行っているプログラムである。

また、スポーツ健康センターは、各ゼミの研究の成果を発表する場としても用いられている。このようにスポーツ健康センターは、実技と研究が両立して行える場であるといえる。



教職員・学生の 交流の場としての スポーツ健康センター

現代社会において、自己の健康は自らで管理する時代となった。それは、学生においても例外ではない。スポーツ健康センターは、授業時間以外に、積極的に学生や教職員への開放を行うようになった。とりわけ開放が進んだのは、最新のウエイトマシンが充実しているトレーニングルームと、室内プールである。このことにより、体力の向上や、ダイエットに励む姿が多くみられるようになった。スポーツで汗を流す場では、教職員も学生もフラットな関係で、お互いの交流の場となっている。

運営・安全管理に関しては、本学の教員指導のもと、ライフセービング部やトレーナーチームが行う。スポーツ健康センターは、授業で指導を受けたことがらを、大学内の資源ですぐに実践する、流経大が掲げる教育理念の一つである実学主義をすぐに実施できる場でもあるといえる。



地域スポーツの 活性化・競技力向上 としての役割

スポーツ健康センターが二〇〇七年に完成してからこの二年の間で、本学の教職員が開催しているスポーツ教室などを通じて、多くの市民がスポーツ健康センターを利用するようになった。

また、流経大は、多くの運動部が活動する、スポーツの盛んな大学である。その運動部の活動拠点としての役割や、運動部主催の大会、練習会、合宿等各種事業の拠点として、スポーツ健康センターの各種施設が使用されている。

今日のスポーツ健康センターは、地域の健康促進を担う場であったり、地域スポーツの活性化や競技力向上と、地域のスポーツ振興の観点からも重要な拠点として位置付けることができ、メインアリーナの完成によって今後ますますその役割は大きくなっていくものと思われる。



学長の活動
2009年9月～11月

- 9月15日 台湾国立交通大学、国立高雄大学来訪
- 9月16日 インフルエンザ対策会議開催
- 9月26日 2009年度春学期卒業式
- 9月29日 中国海南大学交換留学生受入式
財団法人海上技術研究所来訪
- 9月30日 学校法人日通学園理事会出席
- 10月1日 スポーツ健康センター・アリーナ竣工式
経済産業省産学連携
人材育成事業運営委員会出席
- 10月6日 学部長連絡会議開催
- 10月8日 龍ヶ崎市日中友好協会出席
- 10月13日 FD研修会開催
- 10月16日 県立牛久高校、県立中央高校訪問
- 10月20日 教員免許状更新講習実施委員会開催
全学教員会議開催
- 10月22日 県立下妻第二高校、県立伊奈高校訪問
- 10月23日 県立佐竹高校、県立水戸第三高校、
県立日立商業高校訪問
- 10月27日 大学協議会開催
- 10月30日 専修大学創立130周年記念式典出席
- 10月31日 武蔵野美術大学創立80周年記念式典出席
- 11月4日 文部科学省大学設置分科会面接審査
- 11月5日～6日 私立大学教育・研究充実に関する研究会出席
- 11月10日 永年勤続者表彰式
学部長連絡会議開催



育」はさほど異質なものとはいえず、高度な判断力や意思決定能力、コミュニケーション能力等を養うことこそ、むしろ最上の「実学教育」かもしれない。そうした「人間力」の育成は、いわば人としての成長を手助けする人格教育であり、単なる入門教育や従来の知識伝達型の教育によつてはさしたる教育効果も期待できず、「何を教えるか」ではなく、個々の学生に「如何に教えるか」が重要となる。その意味で、全員セミナー制度の下での「少数教育」が最も効果的だったのである。

戦後の学制改革の中で、四年制の新制大学に「一般教育課程」が創設されたが、その内容を定めた文部省令の「大学設置基準」では、一般教育科目として人

文・社会・自然の三分野の教育科目と外国語、保健・体育科目の開設と、それぞれ必要な履修単位数等が定められているだけで、「教養教育」として達成すべき目標等の実質的内容にまで深く言及していなかった。こうした背景の中で、一九九一年の大学審議会答申に基づいた「大学設置基準」の改正が行われるやいなや、全国の各大学において、またたく間に「一般教育課程」の解体と「教養部」の改組、教養教育の縮減の嵐が波及していったのである。

一九九一年のこの「大学設置基準」の大綱化そのものについては、それ自体が誤りであったとは思われない。問題があるとすれば、むしろ各大学がそれぞれの「学士課程教育」の中にリベラルアーツ



【学長室だより】
「実学」

としての
リベラルアーツ

学長 小池田富男

流通経済大学の設立趣意書のなかで、「流通経済一般に関する研究と教育を振興して、わが国経済の飛躍的發展を図るとともに、深く人文科学を攻究し、教養ゆたかな、視野の広い指導的人材を育成して、国民経済の健全化と福祉の増進を図る」と謳われており、これにもとづいて、本学では「実学教育」と「教養教育」、そして「少数教育」を教育の三本の柱に掲げてきた。

我が国の五九〇を超える私立

の大学の中でも稀有な、一営利法人が設置した実学志向の大学であるにもかかわらず、「教養教育」(リベラルアーツ教育)をもう一つの重要な柱に掲げてきたことは、今日からみても、蓋し炯眼といふべきであろう。設立当初から、「汎用性のある社会人基礎力」(コンピテンシー)を備えた人材の育成こそ、高等教育機関としての大学の公共的使命だと考えていたのである。

ただ、「実学教育」と「教養教育



【リベラルアーツ】
ローマ時代の末期の5世紀後半から6世紀にかけて、7つの科目からなる「自由七科」(septem artes liberales)が「自由人の諸技術」としてとして正式に定義された。この「自由七科」は文法・修辭学・弁証法(論理学)と、算術・幾何・天文・音楽である。



2008年9月12日大統領選中にオバマがコロンビア大学に。会場に入れない人々は広場に設置してある大型スクリーンを見ながらオバマの演説を聴く。

ない現地銀行発行のANA Card USA (クレジットカード)を申請したりして、アメリカ到着後三か月も経ってようやく試験を受けさせてもらった。仮免をもらえらと思つたら、SSNがないので、現住所を確認するために自宅に電話するから、それを待ちなさいと言われた。それ

たものだ。その後コンピュータ技術の進歩に伴って事実上個人識別番号として様々な政府機関や民間へと利用が拡大した。しかし、SSNは身元確認手段として弱いという、近年、なり

すまし詐欺 (Identity Theft) 被害が大きな社会問題となつてきた。そこへ「9・11」が発生し、個人識別システムの構築がG・W・ブッシュ政権のもとで進められた。その一環としていわゆる「真正身分証法 (Real ID Act of 2005)」が制定され、事実上の身分証明書となる運転免許証の取得要件の厳格化、カードの標準化などが図られることとなった。この法律の本格的施行はまだのようだが、その内容の一部はすでに各州によって取り入れられている。そのあたりを受けて、われわれは上記のような不便を強いられたわけである。しかし、いずれにせよ、はじめに訪れる外国人にとって、パスポートが身分証明書として不十分だといわれると、もはやなす術はない。あとは生活実績を積み重ねることで自分の存在を証明していくしかない。クレジットカードも、最初はどこの銀行も発行してくれないが、半年ぐらいて信用情報がある程度蓄積されてくるといふところからダイレクトメールが入ってくるのには苦笑いするしかなかった。



ハドソン川中流のベア・マウンテンの麓にて。

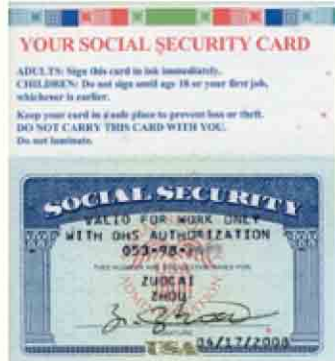
筆者は、2008年4月から2009年3月まで在外研究の機会を得て、コロンビア大学ロー・スクールの客員研究員としてニューヨークで1年間の研究生活を送った。家族も同行してくれたので、滞在中は研究だけでなく、子供たち (高校1年生と小学校5年生) の学校生活、地域の人々との出会い、現地在住の多くの日本人や中国人との交際など実にさまざまなことを体験することができた。20数年前に中国から日本にやってきた時のような新鮮感・緊張感を味わいながら、1年間はあっという間に過ぎた。以下、本誌では4回にわたってこの1年間のアメリカ生活を通じて体験したことや感じたことを記していくこととする。

がもらえない。銀行口座に妻の名前も入れて joint account にしてもらうためにも、名前と身分証明をめぐって面倒なやり取りを交わさなければならなかった。SSN もなければ、現住所を証明するものもない。住宅賃貸契約の当事者は私の名前だし、公共料金の請求書も私の名前のみ。アメリカではこれらがこんなになかった。所持しているありとあらゆる証明書類 (パスポート、国際免許、日本の外国人登録証など) を出し、いろいろ説明して最終的にはカードを発行してもらった。

を聞いてさすがに閉口した。これは一種の嫌がらせとしか思えない。「9・11」後、セキュリティ強化のため、こういう方法になったということだが、これでテロリストを防げるとも思えず、善良な市民を困らせるだけではないか。迷惑を被る人があまりにも多かったため、日本領事館がニューヨーク州に改善を申し入れたこともあったそうだが、目に見える改善はなかった。結局、二人とも路上テストに合格して堂々と運転できるようになったのはアメリカ到着後半年経ってからであった。

アメリカでは、個人の自由が尊重され、国家が国民の身元をがっちり把握し管理する考え方が強く否定されてきた。そのため、日本の住民登録や外国人登録のようなシステムは存在しない。SSN ももとは社会保障事務を管理するための識別番号として一九三〇年代に始まったもの。その後コンピュータ技術の進歩に伴って事実上個人識別番号として様々な政府機関や民間へと利用が拡大した。しかし、SSNは身元確認手段として弱いという、近年、なり

社会保障カード。写真も現住所の記載もなく、住所が変わっても変更届は要らない。注意事項のところには「このカードを安全なところに保管し、身につけて携帯しないこと」と書いてある。



【連載】
コロンビア大学
留学日記



コロンビア大学Low Memorial Library前にて。

ニューヨークで 見たこと 聞いたこと

法学部教授
周作彩 ZHOU Zuocai

その1

「自由の国」で感じた不自由

連載の第一回にアメリカ生活のセツトアップに当たっての苦労話から始めることにしよう。今回の留学には家族同伴ということが条件だったので、留学先および住まいの選定には学区が最重要考慮要素であった。留学の話が決まったときに、偶然にも同じく高校生をお持ちの友人がコロンビア大学に留学中であることを聞きつけた。早速連絡を取ったところ、ちょうど私たちと入れ違いに彼が帰国するというので、彼が借りていた家をそのまま引き継ぐことにした。そこはマンハッタンのグラントセントラルから北へ電車で三〇分ぐらいの近郊住宅地で、治安も学区もよいことで有名どころだ。滑り出しは順調だった。

だ。免許試験自体は日本に比べはるかに簡単だが、試験を受けさせてくれるまでが大変だった。「9・11」テロ事件以後、身分証明が厳しくなり、免許を申請するためには点数化された各種の身分証明書類を6点集めなければならぬ。われわれがもっている唯一の身分証明であるパスポートは3点にしかならない。アメリカで生きていくためにもっとも大切なものに社会保障番号 (SSN) がある。これが無いと、ほぼ身動きが取れない。運転免許証の申請はもちろん、クレジットカードや携帯電話の契約など至る場面でSSNの提示が求められる。就労ビザではないJ-1 (交換留学生や研究者を対象とするビザ) の人は本来SSNをもらえないはずだが、社会保障局の人はJ-1ビザの活動内容がよくわからないからロー・スクールの招聘状その他の必要書類を持っていけば大丈夫と、コロンビア大学国際交流課 (ISSO) の人がこっそり教えてくれた。申請場所は、社会保障局であればどこでもよい。マンハッタンの事務所よりは、ウエストチェスターの事務所

所のほうが並ばなくてすむだろうということもISSOの人から教えてもらった。さっそく近くの社会保障局に申請したが、カードが届いたのはその二週間後だった。パスポート、SSN、銀行カードをそろえてやっと6点になり、アメリカに到着してから一か月経ってようやく免許の筆記試験を受けられた。一発で合格し、仮免をもらってなんとか車のある生活ができるようになった。

コロンビア大学
Low Memorial
Library前のアル
マ・マター (ラテン語で我々の母=母校)像。





[新松戸総合事務センター]
大塚良一 学務担当課長



[スポーツ健康科学部]
黒岩 純 准教授



[法学部]
尾内隆之 講師



[流通情報学部]
内桶誠二 教授



[社会学部]
高橋巖根 講師



[経済学部]
小沢佳奈 講師

やれば出来る!

私は1986年に本学経済学部経済学科を卒業した18期生です。新松戸キャンパスがスタートした2004年4月から学務課に籍を置いています。主に教務関係の業務を担当しており、履修登録、授業・定期試験のサポート、成績処理、進級・卒業判定などといった業務を行っています。このような業務を行っている様々な学生達に接する機会がありますが、特に卒業出来るかどうかのボーダーラインにいる卒業年次生と接する機会があります。この学生達は、これまで勉学以外の事に時間を費やしてしまい、卒業単位124単位までに単位数が多く残ってしまっている学生達です。何とか卒業出来るように履修登録をサポートし、各学部の教員に面接指導をお願いしています。この学生達の名前は、記憶に残っていて、卒業判定資料を作成した時など「卒業可」になっているのを見ると「今年1年よく頑張ったな」と思います。「やれば出来る」と言ってあげたい気持ちになります。

すべて「遊ぶが如し」の精神で

鹿児島県出身。日本大学大学院体育学研究科修士課程修了。現在弘前大学大学院医学研究科博士課程在学中。専門領域は、ラグビーの競技力向上に関することを研究している。
同郷出身の偉人、西郷隆盛を彷彿させる大きな体で学内をゆっくりとあるいている。現在、ラグビー女子日本代表コーチ、7人制ラグビー日本代表ヘッドコーチを務めており、2009年12月に香港で開催された第5回アジア大会にも、女子7人制日本代表コーチとして帯同した。このようにラグビーの技術力向上のために世界を駆け回っているせいか、年中日焼けて真っ黒である。
学生には、楽しいことつまらないこと、勉強もすべて遊ぶのと同じように熱心に取り組むよう「遊ぶが如し」と指導にあたっている。
「一流」を大切にしており、スポーツ以外の文化(演劇、落語、コンサート等)の一流にも多く、生で触れる機会を設けているとのこと。
(田畑 亨・記)

のんびりした、良い気風だと思います

2009年4月から赴任されている尾内先生の本学に対する印象である。法学部で政治学を教えているらしい。
「これまでの勤務先大学、これは都心部にあったので、せわしない感じもありましたから」
ホヤホヤの新任先生であられるから、まだ慣れるのに精一杯だと言われるが、なかなか着眼点は鋭い。
ご家族と柏にお住まいであるという。
「趣味はクラシック音楽です。ジャズ・ボーカルとかも好きですが、聴くのは専らクラシック」
さらには演奏もなさるとか。
「学生時代にオーケストラに所属しておりまして、楽器はフルートをやります。大学時代の仲間と、今も集まって合奏を行います」
室内楽であるそうな。いいご趣味だ。羨ましいですね。
「休みを利用して、仲間と合宿したりするんです、アンサンブルの饗宴。これが楽しい」
演奏三昧の音楽合宿、楽しそうである。
(馬場啓一・記)

知識社会の到来に備えよう

私は大学2年の時に「電子計算機」を知り、電子頭脳の実力に触れたいという願望に取り付かれた。以来、コンピュータのプログラム開発に熱中し、40年以上が過ぎ去った。近年はコンピュータを日常生活や業務で利用する知的な情報システムに関心を向けている。
先進国では情報社会から知識社会への転進が始まっている。この社会の住民は知識や知恵が豊富に注ぎ込まれた商品やサービスの消費機会に恵まれる筈だ。だが、同時に彼らは知識や知恵を積極的に身に付け、毎日を自律的に過ごすことを課題にされそう。しかし、学生諸君は深刻に悩む必要はない。知識や知恵に巡り会うチャンスが身近に遍在するので、多面的に広く対象を観察する習慣を身に付ければ楽勝できるからだ。
最後に、私の夢は各界のベテランが保有する知識を譲り受け、ユビキタスな「知識情報システム」を立ち上げることである。(情報システム論専攻)

中央アジアを研究しています

私の専門は中央アジア研究です。中央アジアとは1991年にソ連が崩壊したときに独立した5つの国を言いますが、私が主に研究しているのは、その一つであるウズベキスタンという国です。最近では、サッカー代表が対戦するアジアのライバルとしても知られている国です。日本ではまだ、中央アジアを研究している人はあまりおらず、まだまだこれからの学問です。その発展に少しでも寄与できればよいと考えています。
また、本学では「イスラム学」を中心に教えています。中央アジアもイスラム圏に属しますが、ウズベキスタンの住民の中には自分たちはアジアの国であると考えてる人も少なくなく、日本に対してあこがれや親近感を持っている人もたくさんいます。しかし、日本では現地事情に通じた人はあまり多くないので、中央アジアを紹介するというのも自分の仕事と考えています。

「なぜ？」を繰り返すと見えてくるもの

毎日ポケ・ツッコミを繰り返し賑やかに生きていると思われがちな大阪人。そんな大阪人の私も幼い頃は人見知りのひどい人間であった。最初の挫折は京都の学校に通った中学生時代。大阪人と京都人のコミュニケーション方法の違いが理解できず、友人が皆無の1年間を過ごす。あまりに悲しい中学生デビュー。
このまま学生時代を終わらすわけにはいかないと一念発起。まずは「なぜ?」と問いかけることから始まった。自分の今の状況に「なぜ?」の問いかけを繰り返す。繰り返すうちに原因がわかってくる。原因がわかれば必ずと解決策も見えてくる。
中学生時代のこの挫折により、「なぜ?」は私の習慣となる。眼前にある気になることや理解できないことがあれば、とりあえず「なぜ?」と問いかけてみる。「なぜあの人は好かれるのか」「なぜあの店はお客が来るのか」。結果には必ず原因がある。気になることは何でも問いかけてみよう。それだけで今まで見えてこなかったものが見えてくるだろう。



馬場啓一の RKU ウォッチング

【第10回】
社会学部
岡野ロビン教授



● Robin J. Okano
岡野ロビン

カリフォルニア州パークレイ出身。上智大学卒業後、ミシガン大学大学院日本研究科修士課程を修了。NHK教育テレビの英会話講師や国際青年交流委員会での英語による日本史・アメリカ史の講師の経験も持つ。1977年から流通経済大学で英会話の授業などを担当している。



「日本が一番好きです」

チャプレンのお嬢さんだという。

「従軍牧師と訳します(chaplain)。父は海軍のチャプレンで、だからサン・ディエゴとか、アメリカ海軍の軍港のある世界中の土地に赴任したのです。私たち家族も、父と共に地球を回りました」

社会学部で英会話を教えていらっしゃる岡野ロビン先生。ご主人はスポーツ健康科学部教授の岡野功先生。おひとり夫婦として学内外で有名である。

「そうやって世界を回って、とうとう日本に落ち着きました。色々な国の文化に惹かれましたが、日本が一番好きです。学生たちにも、それを伝えたいですね」

英会話を教える傍ら、日本文化の研究もされており、学内外で、そういう日本文化を広める催しをされている。日本文化に関する著作もある。

「流通経済大学のキャンパスは、どちらも素敵ですが、自然環境に恵まれた龍ヶ崎は、まことに素晴らしいと思います」

書くまでもないが、これらをすべて流暢な日本語で話されるのだ。

「東京に住む友人に、住んでいるのは茨城です、と伝えると、茨城ですか！と驚かれます。でもそういうイメージとは裏腹に、ここ龍ヶ崎は便利だし、とても気に入っています」

お住まいは龍ヶ崎二高の近く。だから自転車ですべて通っている。

「歩いても、近いんですよ。ジョギングも、したりします」

龍ヶ崎の町は、歩いて丁度良い広さだという。

「住んでいるから、よくわかります」

ところで本学の学生の気質はいかがでしょう。

「大変よろしいです。英語の間は英語を懸命に駆使しようとして、みんな頑張りますね。大いに評価します。だから、うちの学生は、もっと自分に自信を持っていいでしょうね」

これは前回のインタビューの際に、シャピロ先生にも言われたこと。流経生、もっと自信を

持ちなさい。

「英語の幼児教育も専門の一つですが、語学は小さな時から始めると、効果的です。日本語を覚えないうちから外国語を学ぶのはいいかなものか、という声もあります。外国語を学ぶことで、同時に日本の言葉も覚えていくのです。さらに言うなら、第二外国語も併せて学ぶと一層効果的」

専門家の意見として、大いに拝聴した。

「趣味はミステリー、冒険小説です」

書架にはトム・克蘭シーやネルソン・デミル、クライブ・カッスラーがわんさと並べられていた。同好の士、発見。

「流通経済大学と地元龍ヶ崎や新松戸の人たちとの交流が、これからもっと盛んになると良いと思います。大学が地元のために、地元も大学が応援する。そういう美しい関係が理想です」

大賛成である。

「私も、それに協力していきたいです」
これからもよろしくお願いいたします。

岡野ロビン先生の著書。日米の生活習慣や文化の違いを短いエッセイとして取り上げながら、新しい文化を探るといった内容の2冊。

Best of Two Worlds / Japan & America : 1980 Eichosha

This is a collection of short stories on adjusting to a new culture. Topics include life with judo, meeting the in-laws and raising a family. Similarities and differences in customs, childcare and education are talked about.

It's Your Life : 2001 / 2007 RKU Press

This is a collection of short essays on various situations for reading and discussing. Topics include homestay, manners and life style habits. CD is included.



● 常に上を目指すという気持ちを持つことです。

OB/OG訪問
立川が聞く。

Tachikawa hears.

10回近くの転職経験を経て現在はご自身の会社を経営、そして龍ヶ崎中央ロータリークラブの会長も務められている、有限会社理建代表の川上勉さんにお話を伺いました。

川上 勉 さん
(1986年 経済学部卒業)
Tsutomu Kawakami

取材 /
立川和美(社会学部准教授)



大学では「人づくり」を大切にしましたから、今でも大学時代からつきあっている友達が多いですね。ゼミはもちろん、野球部や剣道部などのスポーツ部に在籍していた友達もたくさんいます。

また、アルバイトも建築関係を中心にずいぶんやりました。基礎工事、大工工事、左官、屋根など木造建築の職種ほとんどを動かすようなアルバイトを経験しました。

就職活動から、現在のお仕事に就くまでのことをお聞かせいただけますか？

就職難という時代ではなかったのですが、就職が決まったのは四年生の一月ごろと、かなり遅かったですね。経済的にはパブルの前で、レジャー産業が脚光を浴びていて、大学時代から始めたゴルフの影響もあり、スポーツ用品メーカーの販売の仕事に就くことになりました。しかし、実際に仕事を始めてみると、長期的な目標として自分には合わないと感じるようになり、転職を決意しました。それからは、建築・不動産関係の



仕事の中で一〇回近くの転職を経験し、二〇〇二年に独立して現在の自分の会社を持つようになったんです。

——多くの転職のなかでご苦労も多かったのではないのでしょうか？

それは、自ら動くこともありましたが、ヘッドハンティングもありましたが、基本的に同じ業種の中でしたので、大きな問題はなかったですね。しかし、若いころは一年のうちの元日以外は休まずに働いた年もありました。今考えると、よくやったなと思います。特に若い頃は体力もありますし、自分から積極的に仕事をしていけばそれだけ仕事は速く覚えられますからね。どのような仕事でも言えることですが、「とりあえず何となくしている」というのでは、つまらないと思うんですよ。私の場合は、仕事の中で常に上を目指そうという考えが、転職という形になったのではないかと思います。

——現在は、龍ヶ崎中央ロータリークラブの会長もお務めになつているのですか？

ロータリークラブというのはアメリカで始まった一〇〇年以上の歴史を持つ団体で、もともとは職業奉仕が始まりなんです。龍ヶ崎中央ロータリークラブは二三人程度のメンバーですが、様々な業種の人々が参加しています。

私自身、こうしたいいろいろな方と接することによる自己啓発はもちろんですが、今の自分の会社ではできない奉仕活動がロータリーではできると考えたのが、直接の参加のきっかけです。ロータリーの基本方針の性格から、学生さんともお会いする機会も結構ありますね。先日も流経大の三年生や四年生と就職について話す機会を持ちました

が、今の学生のほうが、私の大学時代よりもずっと具体的に就職について考えていることに感心しました。また、教育プログラムという制度で奨学金をもらっている留学生や日本人学生とも話すこともあります。今の流経大生も頼もしい学生がたくさんいると感じています。

——多くのお仕事をこなしている

らつしゃいますが、日ごろ何か心に留めていることはありますか？
ロータリーに事前に言行の考査として「四つのテスト」という考え方があって、「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」というものなのですが、私はいつもこれを



確認するようにしています。仕事だけではなくて、日常生活においてもとても大切なことだと思っています。

——最後に流経大生にひとことお願いいたします。

ともかく人と人とのつながりを大切にしてほしいと思います。ただ、多くの人と付き合うためには、自分がしっかりとしたいなことは、自分が広げられないですね。知り合いが増えるということは、自分がそれだけ広く知られるようになるということなので、自分自身を磨くことも大切なんです。また、流経大の卒業生では活躍している人が本当にたくさんいます。それを誇りに思っしてほしいと思いますし、またそういう人たちの話を聞く機会を積極的に持つてほしいですね。

インタビューのはじめに「本当に私などでよいのでしょうか」と前置きされる、とても謙虚な方です。その一方、「今も実は受験生なんです」と、お仕事が必要とされる多くの資格取得の勉強もされており、熱意をもってお仕事にあたる力強さもお持ちです。「ストレス解消は？」とお伺いすると、「ゴルフです。一緒にプレイすると、相手の方の人柄も分かって仲良くなれますから」と日に焼けた笑顔でお答えいただきました。



Tachikawa hears.

トライアスロン田山選手 4年連続6度目の優勝!

2009年10月18日に東京都港区台場にて、
第15回日本トライアスロン選手権東京港大会が開催され、
本学職員の田山寛豪選手が優勝しました。
今回の優勝で、日本ランキングの1位も確定し、
最高の形でシーズンを終了することができました。



トライアスロンとは

水泳(スイム)・自転車(バイク)・ランニング(ラン)の3種目を組み合わせた複合種目です。英語で書くと、「Triathlon」。「三種複合種目」という意味で、「3」を意味する「Tri」(トリ/トライ)と「運動種目」を意味する「Athlon」(アスロン)を組み合わせた造語です。スイム・バイク・ランの3種目を、同一人物がこの順番で連続して行う競技です。

第15回日本トライアスロン選手権東京港大会 コースマップ

- スイム Swim
0.75km×2LAPS=1.5km
- バイク Bike
4.81km×8LAPS+0.3km=40km
- ラン Run
2.5km×4LAPS=10km

2009 15th ANNUAL
TRIATHLON NATIONAL CHAMPIONSHIPS TOKYO PORT COURSE MAP



田山寛豪
2000年4月、本学社会学部に入学。在学中に出場した大会(01年、第7回日本トライアスロン選手権東京港大会)で、見事優勝を果たしました。04年3月、本学を卒業。同年開催された第28回オリンピック競技大会(アテネ)、08年の第29回オリンピック競技大会(北京)に2大会連続日本代表として出場しました。また、2008年5月より、所属チームの解散に伴い、流通経済大学所属となり、本学職員として勤務しています。



Hirokatsu
Tayama



今回の留学生紹介は、
大学院を目指して
経営学を勉強している
ベトナム出身のゲン君に
お話を聞きました。

取材/馬場啓一
(法学部教授)

Hello!
International
student!
留学生紹介
vol.10

経済学部経営学科3年
ゲン・トゥアン・ラムさん
ベトナム出身

日本の歴史にも興味があります

— 生まれたのはどちらですか。
ハノイの北の方です。かつてのサイゴン(現ホーチミン)という名前に変わっています。
— ベトナム戦争の激しい頃に学生生活を送った人間には、ハノイの名前は「北爆」とか、殺伐とした時代の厳しさを、思い出させる。しかし目の前にいるイケメンのゲン君には、そういうイメージはまるでない。
— 日本に来たのは両親と相談し、留学するならばアジアがいいだろうと決め、その上で、日本が安全で暮しやすいとわかって、やって来ました。弟が一人います。まだ故郷のベトナムで学生しています。
— 日本は期待通りでしたか。
はい。期待以上でした。最初は言葉が大変で、なかなか苦労しましたが、今はもう平気です。
— ベトナムで短期大学へ入学し、後に語学学校へ移ったという。日本での就職経験もある。現在二五歳。大学院を目指す経済学部経営学科の三年生である。
バイトもしていますし、大学やバイト先で色々な日本人に会



いました。日本人の心の優しさに感動したこともあります。
— 例えは、どういう。
バイトをしていて、一人のお爺さんに出会ったのですが、凄く親切で、様々なことを教えてくれました。
— それはゲン君の好感度溢れるキャラクターによるところも大きいだろう。現在新松戸の「日本文化論」で彼を教えているが、ひじょうに熱心で、かつ必ず質問をして勉強熱心であることがわかる。
— 経済学部で経営学を学び、講義がひじょうに興味深く思っているのです。それと日本の歴史も、面白い。
— 本学のベトナム人留学生は今後増えてくるのが予想される。流通経済大学としても、勉強熱心な彼らは大歓迎である。
— 趣味はパソコンと読書です。フランスの植民地だったベトナムは、なかなか不思議な歴史を持つ国だと思っています。私のゲン・トゥアン・ラムという名



前も、フランス人がもたらしたアルファベットで書く世代と、「阮俊林」と漢字で書く世代とがいるのです。漢字を使うのは老人たちですね。
— はきはきと、しかし考え深い表情で応えるゲン君にとって、本学が期待通りの大学であつたことに、ほっとひと安心する。今後日本とベトナムの関係は、その親交の度を大いに深めていくと予想されるが、彼のような学生が、その架け橋になつてくれることを望む。
— 読書が好きで、日本の歴史のことを書いた本をよく読みます。そういう中から、これからのベトナムの進むべき方向などに対するヒントが掴めたら、いいなと思っています。
— 中国、日本、フィリピン、タイ、ベトナム(ここ!)の地図。



01・ つくばね祭 開催

第44回つくばね祭（龍ヶ崎キャンパス学園祭）が「キセキ」をテーマに、10月31日と11月1日の2日間で開催されました。開催期間中は晴天にも恵まれ、模擬店や展示、サークルの発表など、学内は学園祭一色となり、大勢の市民の方や学生・卒業生などで賑わっていました。

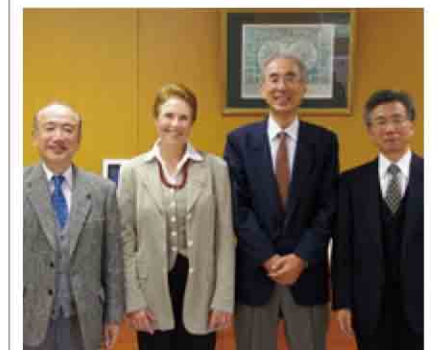
また、期間中にはミニオープンキャンパスも開催されました。



02・ 永年勤続教職員表彰

本学を30年間支えていただいた教員2名に永年勤続の表彰がなされました。

【対象者】岡野ロビン教授（左から2番目）
/ 百合本茂教授（左から3番目）



03... ラグビーフットボール部が 小学校の授業に協力

本学ラグビーフットボール部の学生が龍ヶ崎小学校の体育授業のアシスタントをしています。子どもたちからは「お兄ちゃん」と呼ばれ、学生も子どもたちとのふれあいを楽しんでいました。

（これは、龍流連携事業のひとつであり、今後は近隣の幼稚園・小学校にと拡大していく予定です）



04... 三宅雪嶺記念資料館 講演会開催

11月28日（土）、新松戸キャンパス講堂で講演会「明治時代の旧幕臣たち—その処世と生活—」を開催しました。雪嶺の義父にあたる田辺太一をはじめ、旧幕臣たちの明治時代の様子について多くの方々に聴講していただき、また、展示会「三宅雪嶺旧蔵写真」展も同時に開催、幕末・明治時代の古写真をご覧いただきました。



05... サッカー部 連覇

第83回関東大学サッカーリーグにおいて、2年連続3回目の優勝を成し遂げました。



リーグにおける本学の表彰者は、以下のとおりです。

- 【MVP】
千明聖典（経済学科4年）
- 【ベストヒーロー賞】
船山貴之（経済学科4年）
- 【ベストイレブン】
GK 増田卓也（スポーツ健康科学科2年）
DF 山村和也（ビジネス法学科2年）
DF 比嘉祐介（ビジネス法学科2年）
MF 千明聖典（経済学科4年）
MF 金久保順（スポーツ健康科学科4年）
FW 船山貴之（経済学科4年）

また12月15日には、サッカー部を応援して下さった「まちの応援団」の方を龍ヶ崎キャンパス食堂にお招きして懇親会が開催されました。選手やスタッフをはじめ、サポーターの方々も共に優勝の喜びをかみしめていました。



06... 新松戸光のフェスタ& 吹奏楽部演奏会

今回で6回目の「光のフェスタ」。11月21日から12月23日の間、イルミネーションが新松戸キャンパスを飾りました。このイベントは地域の活性化などを目的としたもので、街中の各所でイルミネーションが点灯されました。

また、最終日の23日には吹奏楽部によるクリスマスコンサートが講堂にて開催されました。



07... もちつき大会

12月24日、龍ヶ崎キャンパス内でもちつきが行われました。教職員をはじめ、龍ヶ崎在住の留学生や大連からの交換留学生などが参加し、初めのもちつきを楽しんでいました。



RKU Schedule 2010年2月～ 2010年4月

全学

2/3～3/31
春季休業

3/20
卒業式

就職関連

【3年生対象】

1月

・第9回就職ガイダンス
（就職活動出発式）

1月下旬～2月上旬

・業界・企業説明会

【編集後記】

■ 年末年始のあわただしい時が過ぎ、学生にとって重要な定期試験が目前に迫っている。学生諸君が、お正月気分に戻っていられた時間はごく僅かだったのではないかと。今回の定期試験期間は、1月19日（火）から2月2日（火）までとなっている。図書館を利用する学生が多いのはこの時期で、真剣な眼差しで試験勉強に取り組んでいる。

試験が終了すると2月末には卒業発表があり、3月初めには2年から3年への進級発表がある。4年生で卒業の決まった学生は、3月20日（土）の卒業式を終るといよいよ社会人として旅立つことになる。

■ 現在のわが国には、景気の先行きにこれといった明るさが見えない。一昨秋に、サブプライム住宅ローン問題で窮地に追い込まれていた米証券業界大手のリーマン・ブラザーズの経営が破綻し途端に100年に一度ともいわれている大不況にみまわれてしまい現在に至っているのは皆様周知のとおりである。しかしながら、今の状況から脱却するために政財界あらゆる分野で懸命な努力を積み重ねており必ずやその成果が現れるはずである。

厳しい就職戦線に果敢に立ち向かい実社会に旅立つ諸君には社会に有用な実業人として各界で大いに活躍していただきたい。一方、就職先が定まらず懸命に就職活動に取り組んでいる学生もいるが、まだチャンスがあるので、チャレンジ採用通知を手中にして欲しい。

それにしても一時も早く景気が良くなることを強く願うばかりである。

■ さて、季刊である本誌は、今号で10号を発刊することができた。これからも読者の皆様のご意見等を伺うなどして編集委員会一同誌面の更なる充実に向けていかなければならない。

ご意見、ご要望等企画広報室にお寄せ願いたい。
（編集子）

入 試 日 程

(全学部・学科共通)

経済学部／経済学科・経営学科 社会学部／社会学科・国際観光学科 流通情報学部／流通情報学科
法学部／ビジネス法学科・自治行政学科 スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学科

| | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 試験場 |
|----------------|----------------|------------|-------|-------------------------|
| 大学入試センター試験利用入試 | Ⅱ 1/25月～2/24火 | 個別試験は実施しない | 3/4火 | — |
| 3科目型 | Ⅰ 12/21月～2/2火 | 2/6土 | 2/12金 | 龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・高崎・沼津・いわき |
| | Ⅱ 1/25月～2/11木 | 2/15月 | 2/22月 | 龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・郡山・新潟・岡山 |
| | Ⅲ 1/25月～2/22月 | 2/26金 | 3/4火 | 龍ヶ崎・新松戸・東京 |
| 問題自由選択型 | Ⅰ 12/21月～1/28木 | 2/1月 | 2/5金 | 龍ヶ崎・新松戸・東京 |
| | Ⅱ 1/25月～2/11木 | 2/16火 | 2/22月 | 龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・郡山・新潟・岡山 |
| | Ⅲ 1/25月～3/5金 | 3/10水 | 3/13土 | 龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・高崎・沼津・いわき |

試験科目など詳しくは
受験生向けスペシャルサイトへGO!

<http://www.rku.ac.jp/go>

●お問い合わせ…………… TEL: **0297-60-1156** (入試センター直通)

2010年
4月開校

大学院 スポーツ健康科学研究科 (修士課程)

生涯スポーツおよび競技スポーツの
プロモーションリーダーを養成する

2010年4月、高度専門職業人の養成を目的とした大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ科学専攻(修士課程)が龍ヶ崎キャンパスに開設されます。本専攻では、あらゆる人たちの願いである健康で豊かな生活の実現を目指して、文部科学省の「スポーツ振興基本計画」や厚生労働省の「健康日本21」などの施策を積極的に推進していく、地域における生涯スポーツおよび競技スポーツのプロモーションリーダーを育成します。

- 専攻の名称: スポーツ科学専攻
- 学位の名称: 修士(スポーツ科学)
- 定員: 入学定員10名/収容定員20名
- 標準修学年限: 2年



2010年度 スポーツ健康科学研究科(修士課程)入試日程

出願期間 2010年 2月22日(月)～2月26日(金)

試験日 2010年 3月8日(月)

●お問い合わせ…………… TEL: **0297-60-1155** (流通経済大学教務課)



流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.10** 2010年1月発行

編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室

茨城県龍ヶ崎市平畑120 〒301-8555 TEL: 0297-64-0001 (代表)

